

宮崎県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

シニアの居場所づくりを
皆で応援

えんがわひなた

宮崎市

事業名：シニアの居場所づくりを皆で応援

1. 【団体の概要】

えんがわひなたは、平成 30 年度宮崎県市町村・地域づくり団体協働モデル事業で多世代交流をされていたプチ・コパンの活動をきっかけに、宮崎市介護保険課からの打診もあり、地域に住む 60 歳以上のメンバーが集まり自らの手で宮崎市の中心部にシニアの居場所をつくろうと発足したのが始まりである。

2. 【事業の目的、ねらい】

宮崎市中心部は、マンションの増加や自治会加入率の低下で地域のつながりが希薄化しているため、高齢者の居場所づくりを進め、世代間地域間の交流を促進し、地域住民相互の支援体制を構築することを事業の目的としている。これまでのノウハウを生かし小戸地区でシニアイベントを開催することで同様の効果をねらったものである。

3. 【活動内容】

シニア世代の講座参加や新しい仲間づくりなどへの意識醸成を目的として、民間団体との連携・協力により、学生ボランティアとの多世代交流の機会や認知症予防を兼ねた楽しめるシニアイベントを実施した。また、小戸まちづくり推進委員会や地域包括支援センター等の協力を得て、地域情報を提供し、参加者の交流を深め、シニア講師やシニア団体が活躍できる場としての提供にも配慮した。

(1) 日 時 令和 6 年 10 月 13 日 (日)

シニアイベント開催 9 時 30 分～12 時 30 分

反省会 13 時～15 時

(2) 場 所 宮崎市青少年育成センター (多目的ホール・会議室)

(3) 対象者 地域の高齢者と地域住民

(4) 参加人数 144 名 (ボランティアスタッフ 44 名・来場者数 100 名)

(5) 運営方法 小戸地区から小戸まちづくり推進委員会、小戸社会福祉協議会、傾聴ボランティア及び小戸地域包括支援センターの協力を得ながら、えんがわひなたの持つ多世代交流型シニアイベント開催のノウハウを生かし、小戸地区のニーズに沿ったイベントとなるよう実施した。

(6) イベント内容

① 「昔懐かしいレコード視聴体験」と「孫 café」

シニア団体「宮崎レコードを楽しむ会」の参加協力の下、レコード視聴体験を実施。特に同会の発案により、コーヒー等の飲み物を提供するという形で孫カフェとコラボした。小学生ボランティア等が給仕を担当したことで評判もよく、後半では座席が足りないほど盛況となり、レコード視聴はシニア男性も参加しやすく、好評を博した。

② 「携帯操作相談コーナー」

高校生ボランティアによる携帯操作相談を実施。相談は個別対応ということもあり、優しく教えてもらって良かったとの声が多く聞かれた。

③ 「手芸作品の展示バザーコーナー」

通常のえんがわひなたの活動である「手芸デー」参加者の作品を見てもらい、購入してもらうことが同活動の参加者の励みになった。

④ 「骨密度測定と老廃物測定」

そうごう薬局の支援（スタッフ8人・測定器2台）の下、骨密度測定と老廃物測定を実施。健康チェックはもちろん、相談しやすい雰囲気づくりや健康茶等の提供もあり、参加者からは喜びの声が多く聞かれた。

⑤ 「太極拳演武とストレッチ体験」

当団体委員長による演武を実施。椅子に座りながらできる体験として喜んで参加されていた。しかし、座席が足りず参加できなかった方もいたことが反省点となった。

⑥ 「認知症予防のセラピーコーナー」

認知症予防のためのセラピーコーナーとして、手相、カラーセラピー及びハンドマッサージの3つの項目を実施した。

ア 手相

楽しみにしているシニアが多いと聞いていたので、急遽ボランティア講師を1名追加し、対応したが、人気があり、参加できない方がたくさんいた。手相をきっかけにふれあいやおしゃべりを楽しむ方が多く、高評価だった。

イ カラーセラピー

色彩心理学を活用したケアは、初めての体験だったため、参加者は講師との交流を楽しんでいた。手相と同様に、体験できた方からは高評価だった。

ウ ハンドマッサージ

サザンビューティー専門学生7名と教師1名の協力の下、無料ハンドマッサージを実施。学生にとっても多世代交流は貴重な学びとなり、

高齢女性の方は、若い方にケアしてもらえることに大変感動していた。

⑦ 「地域包括支援センターの案内と相談等」

小戸地区の居場所や講座案内のチラシを設置し、宮崎市介護保険課が作製した安心カードや手帳を参加者一人ひとりに説明しながら配布した。

⑧ 「野菜販売」

子ども食堂等に無料で野菜を提供している方の協力の下、シニア層が喜ぶ新鮮野菜を販売するという形で参加してもらった。売り上げは全額子ども食堂に食材を提供するための資金に充当した。

※ イベントチラシ



多世代交流

「シニアの居場所」

えんがわひなたイベント in 小戸

毎日の生活を充実させて楽しみませんか？シニアの居場所づくりを応援している
団体「えんがわひなた」によるシニアのためのイベントです♪

入場無料

令和6年 **10月13日**  9:30~12:30

場所：宮崎市青少年育成センター（多目的ホール・会議室）

住所（宮崎市鶴島2丁目18番9号）

※駐車場が限られております。公共交通機関のご利用等ご協力よろしくお願ひします。
臨時駐車場：鶴島自治公民館・小戸神社駐車場（東神苑）



野菜の販売



携帯のお悩み相談



測定・相談コーナー
（骨密度など）



手相・カラーセラピー



ハンドマッサージ



レコードコンサート



太極拳ストレッチ体験会



孫カフェ

先着100名様

来場者記念品
プレゼント！

イベントの詳細は裏面をご覧ください。

みなさんのご来場、お待ちしております！

令和6年度宮崎県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

主催：えんがわひなた 協力：小戸まちづくり推進委員会、小戸地区社会福祉協議会

市民活動団体「えんがわひなた」

〒880-0811 宮崎市錦町5-13
タイヨー 錦町店2階

お問い合わせ / えんがわひなたのHP



090-9791-6367



イベントの様子

2024えんがわひなたin小戸イベント

2024.10.13 (日) 9:30~12:30



野菜の販売



携帯のお悩み相談



バザー・手芸作品展示販売



地域包括支援センター相談コーナー



ハンドマッサージ



太極拳体験



手相・カラーセラピー



孫カフェ



昭和歌謡
レコードコンサート



骨密度
老廃物測定

4. 【事業の成果、効果】

小戸地区では、このようなシニアイベントは初めてであったこともあり、引きこもりがちな高齢者層も歩いて参加して下さった。イベントが楽しかったからとえんがわひなたの通常活動に参加するようになった。

また、シニア団体である宮崎レコードを楽しむ会の方も 50 名以上の方に参加してもらい活動の励みとなったほか、シニア講師の生きがいにもつながった。

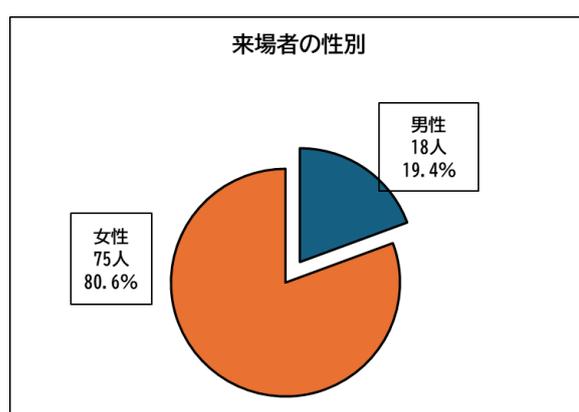
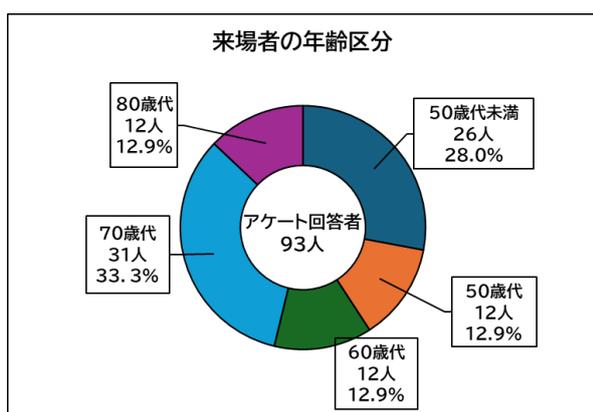
このほか、高齢者と学生のふれあいは地域で企画することで自然な交流となっており、小戸地区でも今回の事業をきっかけに、講師陣や学生と新たな企画を生み出すためのつながりを築くことができた。

今後は、地域コミュニティ課協力の下、各まちづくり推進委員会にシニアイベントの実施例として共有することにより、広く他地域へと波及できるのではと考える。

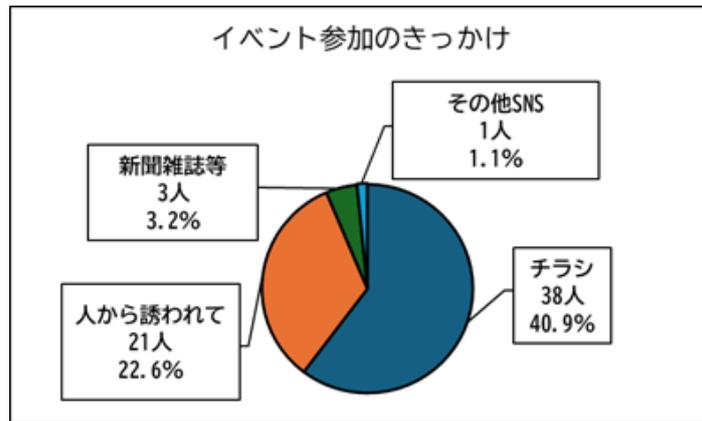
2024 年 えんがわひなた in 小戸イベントアンケート結果

シニア対象のアンケートは、回収が難しく、質問への問いに答えられていない回答など集計上、まとめが難しいものもあるが 93 名の回答を得た。

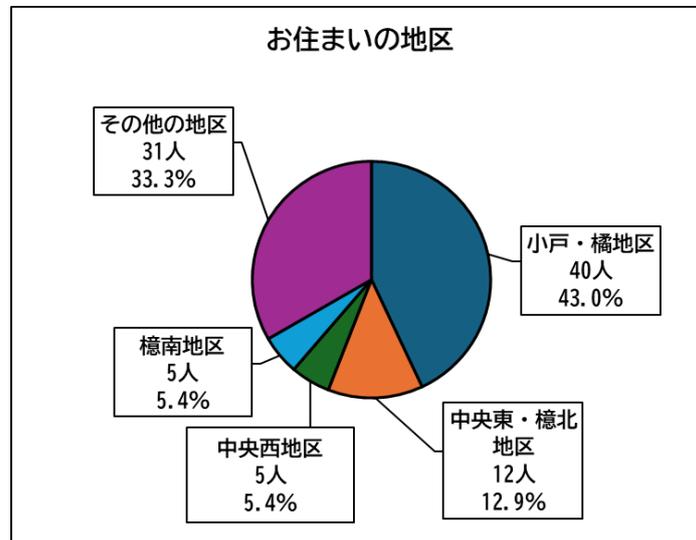
- ・ イベント参加者は、70 歳代（31 人・33.3%）が最も多く、次いで 50 歳代未満（26 人・28.0%）の順であった。なお、男女別では女性の割合が 8 割と多かった。



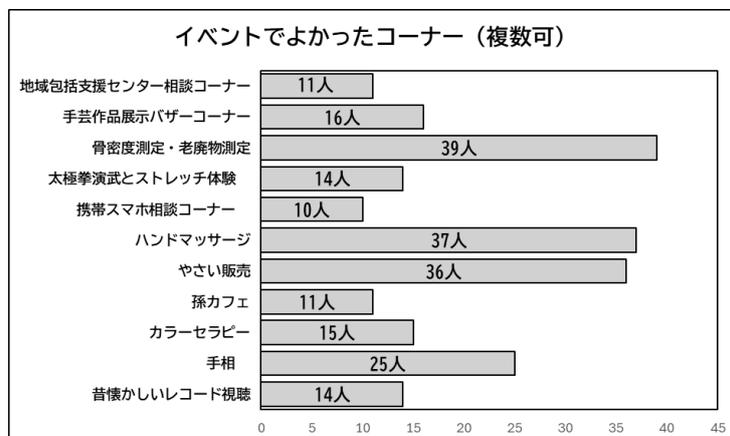
- ・ イベント参加へのきっかけを見ると、「チラシ（38 人・40.9%）」が最も多く、次いで、「人から誘われて（21 人・22.6%）」が多かった。



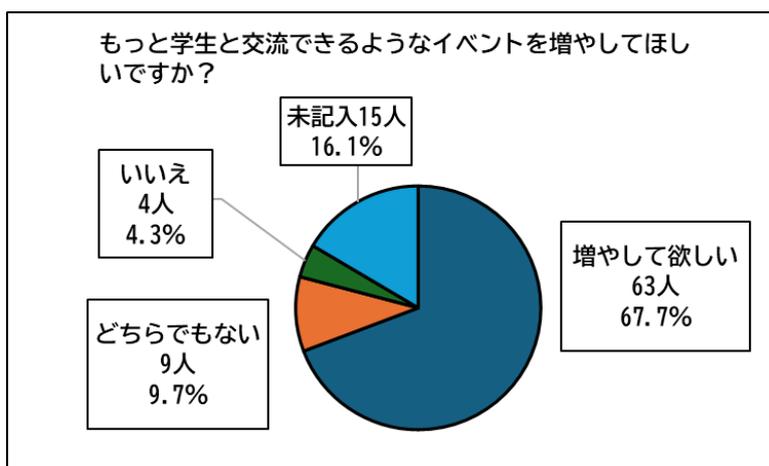
- 参加者の居住地を見ると「小戸・橘地区（40人・43.0%）」の参加者が最も多く、次いで「その他の地区（31人・33.3%）」からの参加の順であった。なお、遠くは都城市からの参加もあった。



- イベント内容では、「骨密度測定・老廃物測定（39人）」が最も好評で、次いで、「ハンドマッサージ（37人）」、「やさい販売（36人）」の順であった。



- ・イベント開催については、「もっと学生と交流できるようなイベントを増やして欲しい」との意見が多かった。



5. 【まとめ】

多世代交流やシニアの居場所づくりが、重要であることは理解されているが、具体的な解決策が難しいのが現状である。中央東地域の成功事例を基に、小戸地域でもシニア講師やシニア団体との協働を進め、学生ボランティアとの多世代交流を促進する仕組みや運営ノウハウを活用して、他地域へのモデル事業としての広がりを期待している。